

山形県企業スポーツ振興協議会

CSP+

YAMAGATA PREF.
COMPANY SPORTS
PROMOTION CONFERENCE

vol.27 » October 2021



Never Stop
Playing Sports

ごあいさつ



山形県企業スポーツ振興協議会
 会長 長谷川 吉茂
 (株式会社山形銀行 取締役頭取)

日頃より当協議会へご支援をいただいている多くの皆様に対し、厚く御礼を申し上げます。
 スポーツ界を取り巻く環境は2020年のかごしま国体の延期や2021年の三重とわか国体の中止など、新型コロナウイルスの猛威により、大変厳しい状況にあります。しかしながら、こうした状況下においても、本県企業スポーツの灯を絶やさぬよう、会員企業の皆様とともに企業スポーツ振興に継続的に取り組むことは、大変意義のあることだと考えております。

さて、1年延期されていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催(2021年7月23日〜9月5日)されました。本県からはオリンピックピックに5名・パラリンピックに4名の選手が参加し、パラリンピック水泳の東海林大選手が200m個人メドレーで4位入賞を果たすなど、本県出身選手も大いに活躍をしました。多くのアスリートが活躍する姿を通して、世界中が夢や感動・希望で盛り上がり、改めてスポーツの素晴らしさが再認識されたことと思います。

当協議会としましては、コロナ禍においてもでき得る限りの対策を講じながら、この困難を力に変え会員企業の皆様とともに本県スポーツ界の発展に努めてまいりたいと考えております。
 今後とも、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

2021シーズンスローガン

前進

YAMAGATA
 ICHIGAN

株式会社モンテディオ山形
モンテディオ山形

(2020シーズン) 日本プロサッカーリーグ・J2 / 7位



(C)MONTEDIO YAMAGATA

2021-22シーズンスローガン

STEP UP

株式会社パスラボ
山形ワイヴァンズ

(2020-21シーズン) B2リーグ東地区 / 5位
 プレーオフ進出



(C)Paslab Inc.

輝く明日に向かって

山形県企業スポーツ振興協議会では、会員企業などに所属する競技選手・チームにレベルアップのための活動費を助成しています。その皆さんの活動報告を紹介します。

01

プレステージ・インターナショナル アランマーレ ＜バレーボール＞



2020年11月より、2020-21V.LEAGUE DIVISION 2が開幕しました。レギュラーラウンドでは、10勝4敗でチーム創設後最高の3位となり、ブロック賞を菅原里奈が受賞しました。

6シーズン目となる2020-21シーズン、開幕から好調を維持しながら第1Legを終えましたが、新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令され、9チーム中4チームがリーグ途中で辞退することになりました。試合の中止や大会方式の変更によりコンディションやモチベーションの維持に苦心しました。

大会方式変更や中止がなければ入替戦出場は確実でしたが、ラスト2試合で負ければ入替戦出場がなくなる状況となりました。1位のチームに勝利し、あと1戦の勝利で入替戦出場でしたが結果敗戦し、入替戦出場を逃してしまいました。

チームが好調だっただけに、コロナの影響、試合中止、大会方式の変更が悔やまれるシーズンとなりました。

しかし、チームレベルも年々向上し、個人の技術部門でもランクインする選手が多くなっております。

今年度も引き続きご支援の程宜しくお願い致します。



Basketball

令和2年度は、「ONE 一挑戦・信頼・徹底」というチームスローガンを掲げ、取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、国民体育大会が中止となり、全国優勝ができるのは『第3回全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップ』のみとされ、同大会の優勝を目指し練習して参りましたが、準決勝敗退、3位という結果で幕を閉じました。

このような状況だからこそ、チーム一丸となり優勝を目指して参りましたので、とても悔しいシーズンとなりました。

今シーズンは、2名の新人選手を迎え、合計14名での活動となります。チームとしての土台作りをしっかりと行い、今年こそ昨シーズンの悔しさを胸に全国2冠を掴み取れるよう、努力して参ります。

02

株式会社山形銀行 ライヤーズ ＜女子バスケットボール＞

03

社会医療法人公徳会 ドミール南陽

山本 京子選手

<弓道>



Kyudo

令和2年度レベルアップ事業補助金を交付して頂きありがとうございました。

国体での優勝を目指し、弓を新調して臨んだ令和2年でしたが、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い予定されていた大会が次々と中止となり、不安の中での1年となりました。

令和3年の国体も中止となりましたが、感染症に対する予防策を確実にしながら来年こそは国体が開催される事を期待し、強化選手として日々練習に励んでいく所存です。

引き続き県企業スポーツ振興協議会の皆様よりご支援頂けますよう宜しくお願い致します。



Rugby

株式会社きらやか銀行

高橋 宗成選手

<ラグビー>

04

2020年度は、新型コロナウイルスによる国体および東北総合体育大会の中止を受け、年度内の対外試合や強化合宿、遠征等については行うことができませんでした。また、チームとしての練習、トレーニングも行うことができない一年間となりましたが、各自で筋力トレーニング等を行うことで個人能力の維持向上に努めました。

令和3年1月に、山形県成年男子ラグビーフットボールチームの国体での活躍が認められ、「山形県のラグビーを支援する会」の設立に向けて山形県内の有志企業が準備

に入りました。このような組織設立は前例のない取組みであり、他県からも注目されています。このような大きなバックアップを受け、山形県青年男子ラグビーフットボールチームが更なるステップアップを図られるよう、チーム一丸となって次の国体に向けて努力していきます。

今後は緊急事態宣言や山形県内の新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえながら、県外への遠征やチーム練習を再開させ、国体ベスト4以上を目指します。

05

渋谷建設株式会社

畑 伸秀選手

<バスケットボール>



Basketball

今年度もレベルアップ支援事業補助金を交付していただき大変光栄に思います。渋谷建設株式会社の代表として今年もバスケットボールに取り組みさせていただきました。

コロナウイルスが猛威を振るう中、大幅なスケジュール変更を余儀なくされ例年の半分しかリーグ戦を行うことができない状況でスタートした今シーズンは、東北リーグ戦で3位の成績を残し全国チャンピオンシップ大会の出場権を手に入れました。しかし、今回も全国チャンピオンシップ大会では勝利することができず悔いが残る形となりました。

コロナウイルスにより国民体育大会も中止になってしまいシーズンを通して今年は消化不良に感じています。同時にこれまでいつも利用していた体育館が使えなくなり練習ができないなど今までの環境のありがたさを痛感しました。

コロナウイルスによる感染拡大の出口が見えない中、バスケットボールができる喜びを感じながら来年度は精進していきたいと思います。



社会医療法人公徳会佐藤病院

野球部

<軟式野球>

Baseball

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、4月・5月と活動自粛を余儀なくされ、対外試合も例年の半分以下と厳しいシーズンとなりました。県大会も中止や延期となりましたが、8月に開催された天皇賜杯山形県予選では、8年連続で優勝し、全国大会への出場権を獲得することができました。

10月末より、岡山県で開催された天皇賜杯全日本軟式野球大会では、1回戦で千葉県が強豪である京葉銀行と対戦。9回を終了し、0-0と緊迫した試合展開ではありましたが、延長13回に得点を許し、4-0で1回戦敗退と悔しい結果となりました。

コロナ禍の中、シーズンを通して野球部の活動にご理解を頂いた地域の皆様、職員の皆様に心から感謝申し上げます。恩返しと言える結果ではありませんでしたが、次シーズンへ向け大きな経験となったこと、野球ができる環境を作って頂いたこと、すべてに感謝し、これからもより一層精進して参ります。



株式会社きらやか銀行

硬式野球部

<硬式野球>



Baseball

2020年度は、新人4名を加え、スローガン『「続攻」～Show The山形Spirits～』を掲げ、都市対抗野球大会本戦連続出場と社会人野球日本選手権大会本戦出場を目指しスタートをきりました。しかし、新型コロナの流行に伴い2か月間の活動自粛を余儀なくされ調整が非常に難しい年となりました。全国大会につながる唯一開催された都市対抗予選では、準決勝敗退となりましたが皆様の声援も頂戴し感謝いたします。

2021年度は、新人5名を加えスタートをきり、「二大会本戦出場」を目指し挑戦して参ります。

山形県企業スポーツ振興協議会の皆様をはじめ、山形県民の皆様からご声援とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。本年は、昨年の反省を踏まえ全国で山形の企業スポーツをアピールできるよう努力して参ります。

株式会社でん六

バドミントン部

<バドミントン>

Badminton

令和2年度、国内最高峰リーグS/Jリーグ傘下の「チャレンジリーグ」において2部でのスタートとなり、1部返り咲きを第一目標としていた矢先に新型コロナが世界各国で広がりを見せました。その影響で相次いで各大会が中止となり、全体練習も1ヶ月半出来ない状況が続きモチベーションを保つのが非常に難しい状態でした。

改めてバドミントン競技が当たり前に出来ていた事が、

このコロナ禍により当たり前では無いことを感じ考えさせられた1年となりました。

今後は、この経験を活かしバドミントン活動に役立てて行けたらと思います。

最後に山形県企業スポーツ振興協議会の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様から温かいご声援、ご支援をいただき深く感謝申し上げますと共に今後とも引き続きご指導、御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

株式会社斎藤農機製作所

剣道部

<剣道>



Kendo

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で5月の酒田市体育大会、7月の山形県剣道大会、9月のTDK杯、全日本実業団剣道大会、東北実業団大会、各個人の県予選会すべての大会が中止となりました。6月まで練習などの活動もすべて中止し、会社全体でコロナ対策を実施しました。7月からは感染予防対策として面マスク、フェイスマスクを活用し、アルコール消毒、換気を行い

少人数で、外部と交流をしない、また短時間という条件で再活動を行いました。試合のない中、モチベーションを維持するのがとても大変でしたが、基本を中心に体力維持を心がけて活動を行いました。

令和2年度は見えない敵との戦いでしたが、令和3年度も気を緩めることなく、コロナ対策をしっかりと活動を行いたいと思います。



Hockey

エヌ・デーソフトウェア株式会社

今野 華瑠香選手

<ホッケー>

昨年度は、毎年行われておりました各種大会が全て中止となり、東北総体や東北社会人大会も開催が見送られました。

昨年の同じ時期には、まさに全国的な緊急事態宣言のさなか「普通」の生活が送れること・ホッケーが出来るのがいかに幸せなことかを感じておりました。ようやく6月にコートの使用許可が下り、練習が再開されたときには、広いコートでホッケーが出来る事が嬉しくてたまりませんでした。

昨年の活動を振り返ると、地元高校生との練習試合、小・中学生への指導など、これから山形県のホッケーを背負って

立つ世代との交流、指導に充てる事が出来た1年だったと感じます。

全国の舞台に行くために日々努力していたのに、挑戦すらできなくなった学生達の悔しさ、もどかしさを思うと胸が痛くなります。しかし、一緒に練習していた後輩達はそんな状況にも挫けることなく、次の目標に向かい努力を続けていました。私たちも、そんな後輩たちの目標となり先陣を切っていけるよう、これからも活動ができるということに感謝し目標をもって練習に励みたいと思います。

株式会社置環

スキー部

<スキー>



Ski

令和2年度の目標も引き続き”国体優勝・入賞”を掲げ活動をしてきました。

アルペン3名(清野嵩悠、佐藤慎太郎、三上大我)、クロカン1名(石川潤)ジャンプ1名(斎藤康哲)、コンバインド1名(島貫寛基)の計6名の選手で活動しました。

国体県予選では、アルペン成年Aで三上、成年Bで清野が優勝、ジャンプ成年Bで斎藤が優勝、クロカン成年Bで石川が2位と4名が国体出場権を獲得しました。

目標としていた国体ですが、新型コロナウイルスの影響で中止となり、ノルデックの選手は今シーズンの活動は終了となりました。アルペン陣は国内の各種大会に参戦し、清野崇悠がFIS秋田八幡平ENL回転で優勝、佐藤慎太郎がFIS愛知県選手権大回転優勝、

三上大我がFIS蔵王ライザSLで5位などといった国内トップクラスの成績を収めることができました。

来季に向けては、狙ったレースは失敗しない、怪我をせず1年間活動できる強い選手を目指し、弊社で経営しているココロとカラダをリカバリーする蔵王坊平”高源ゆ”を拠点にトレーニングに励みます。

また、地域貢献の一環として地元高校スキー部アルペン競技の指導を継続して行っており、インターハイ入賞を目標に活動をしていきます。

最後に、当協議会の皆様から温かいご声援とご支援を賜りました事に心より感謝申し上げます。



Athletics

令和2年度は新型コロナウイルスの流行から数々の大会が中止になり、練習も制限される1年となりました。4年ぶりのニューイヤー駅伝出場をかけた東日本実業団駅伝では2区で出場権獲得圏内に入ると、そこから出場権獲得圏内を維持し結果11位となり、念願のニューイヤー駅伝出場権を獲得することができました。沢山の応援を頂き出場したニューイヤー駅伝ですが、全国の強豪と戦い36チーム中35位とまだまだ全国で戦うには力不足だということを痛感させられました。

個人種目では、開催が少ない大会の中でも照井明人、

エヌ・デーソフトウェア株式会社

NDソフト
アスリートクラブ

<陸上>

熊倉優介、齋藤諒が自己ベストの更新、アレクサンダー・ムティソがハーフマラソンで世界記録更新の走りを見せ、結果を残すことができました。

新年度・新体制となり気持ちを新たにニューイヤー駅伝への連続出場を目標に練習に励んでおります。また、山形県の陸上競技レベル向上に少しでも貢献できるよう、普及活動にも力を入れて活動していきたいと考えております。今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。

令和3年度山形県企業スポーツ振興協議会 会員企業一覧

- | | | |
|--------------------|--------------------------------------|------------------------------|
| 1 アイジー工業株式会社 | 15 スズキハイテック株式会社 | 29 株式会社モンテディオ山形 |
| 2 株式会社曙印刷 | 16 株式会社ダイバーシティメディア | 30 株式会社山形銀行 |
| 3 エヌ・デーソフトウェア株式会社 | 17 鶴岡信用金庫 | 31 公益社団法人
山形県スポーツ振興21世紀協会 |
| 4 遠藤商事株式会社 | 18 株式会社テレビユー山形 | 32 山形県スポーツ用品小売商業協同組合 |
| 5 株式会社置環 | 19 株式会社でん六 | 33 山形建設株式会社 |
| 6 株式会社カスカフスポーツ | 20 東北電力株式会社 | 34 株式会社山形新聞社 |
| 7 加藤総業株式会社 | 21 日東ベスト株式会社 | 35 山形信用金庫 |
| 8 株式会社かわでん | 22 日本地下水開発株式会社 | 36 株式会社山形テレビ |
| 9 株式会社きらやか銀行 | 23 株式会社パ斯拉ボ | 37 株式会社山形ドルフィンクラブ |
| 10 社会医療法人公徳会 | 24 株式会社プレステージ・インターナショナル
山形BPOガーデン | 38 山形パナソニック株式会社 |
| 11 株式会社斎藤農機製作所 | 25 前田製管株式会社 | 39 山形放送株式会社 |
| 12 株式会社さくらんぼテレビジョン | 26 升川建設株式会社 | 40 株式会社山形ミートランド |
| 13 渋谷建設株式会社 | 27 株式会社丸定 | 41 株式会社ヤマザワ |
| 14 株式会社荘内銀行 | 28 株式会社メコム | 42 ヤマリョー株式会社 (五十音順) |

会員企業を募集しております

～県内企業でスポーツを頑張っている選手・チームを応援しませんか～

協議会
概要

山形県企業スポーツ振興協議会は、
①企業スポーツ活動の支援
②本県競技スポーツ界の活性化と競技レベルの向上
③優秀スポーツ選手の人材確保
を活動目的に、平成6年8月に設立されました。

歴代
会長

初代 丹羽厚悦 氏
2代 山田昭一 氏
(現会長)
3代 長谷川吉茂 氏

具体的
活動内容

- ・会員企業の選手に対する競技力向上のための活動助成
- ・国民体育大会等、各種競技大会参加への協力
- ・研修会、講習会の開催 など

年会費

20,000円

編集
後記

新型コロナウイルスにより、1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が2021年9月、無事閉幕し、多くのアスリートが世界中に勇気と感動を与えてくれました。コロナ禍において、改めてスポーツのもつ力や重要性を再認識する機会となったのではないのでしょうか。2022年の北京冬季オリンピックでも、スポーツの力で再び世界中に明るい希望の光が灯されることを期待しております。

残念ながら2021年度の三重国体は中止となってしまいましたが、企業スポーツ活動に関わる全ての皆さん、今後もスポーツの力で山形県に活力と元気を与えていきましょう。

この会報を通して県内の企業に所属して活動している選手・チームの活躍を一人でも多くの方に知っていただき、応援いただければ幸いです。